



# MORIOKA YMCA NEWS

## 盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、子ども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. 子どもたちの個性を大切にし、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

## 2016年3月号 プログラムができるまで



発行人：濱塚有史 編集人：君塚彩 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1  
TEL 019 (623) 1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>



## 「ひまわり」

岡田 雛乃（宮古高校2年 ひなひなリーダー）

ひなひなです。突然ですが、私はひまわりが大好きです。理由は私たち人間のように上に向かって咲いているから。私たち人間もひまわりも元気があると上を向き、元気がない時は下を向きます。そう、ひまわりは人間と一緒になのです。世界には70億人を超えるひまわりたちがいて、わたしはその一人のひまわりにすぎません。震災から5年が経とうとしている今、私は、この70億分の1のひまわり、つまり私たち一人ひとりの存在がどれだけ大事なのか感じています。

震災が起こったのは私が小学6年生の時。卒業式練習の真っ最中でした。今までに感じた事のない大きな揺れに学校中から悲鳴と恐怖。すぐに学校裏の山に避難しました。町中に響き渡るサイレン。今でもサイレンを耳にするたびあの恐怖がよみがえってきます。余震が続く中、学校へ戻ると校庭まで水が。私の家はすでに浸水していました。学年ごとに3階の教室で迎えが来るのを待ちました。私は家族と顔を合わせることがほとんどできず、その日は一つの教室で妹と先生とカーテンで寒さをしのいで一夜を過ごしました。翌日、家族と再会できた時は目から涙が溢れました。私にとって家族の大切さを一番に感じた瞬間だったのかもしれない。あの日、みんなでほんの少ししかない小さな乾パンを1個ずつ分け合って身を寄せて食べたこと、教室の入り口で迎えが来るのをずっと待っていたこと、今まで住んでいた大好きな町が見たことのない風景

になっていたこと、絶対に忘れない。今まで当たり前だと思っていた生活は当たり前ではなく幸せなことなのだとすることに気づかされました。震災から約2週間後、音楽室で開かれた小さな卒業式。立派な服装ではなかったけれど、またみんなと再会できたことがなにより嬉しかったです。担任の先生からの「生きていてくれて本当によかった」この一言で私は泣き崩れました。

あの日からもうすぐ5年。長いようで短い5年間でした。私には小さい頃からの夢があります。それは助産師になること。助産師になりたいと改めて強く感じるようになったのはYMCAの活動に携われたからです。これまでキャンプやボランティアを通してたくさんの人と触れ合い、人と関わり気持ちを通じ合わせることで、そして誰もが必要とされていて一人ひとりが大切な存在なのだと肌で感じるようになりました。今、目の前にいる人は、人生の中でのほんの少しの確率で出会った大切な人たち。世界中の誰かが誰かと出会う、その誰かが誕生する瞬間を私は支えたい。たくさんひまわりが上を向いて世界中に咲くように、私も今の社会を生きているひまわりを、これから咲こうとしているすべてのひまわりが上を向いて咲くように支えたい。社会を生きるすべてのひまわり、すなわち私たち人間笑顔が溢れる世界にしたい。これが私の夢であり、私が願う世界です。



# サンデースクールができるまで

盛岡YMCAでは、月1回「サンデースクール」を行っています。「サンデースクール」とは、大学生のリーダーたちが企画から活動まですべてを自分たちの力で行うプログラムです。今回は、「どんな活動なら子どもたちが喜んでくれるだろう?」と頭を悩ませながらがんばる、リーダーたちの特集です。



こんにちは！しゃちほこです。サンデースクールの活動について、ご紹介します！  
サンデースクールこと、「サンデー」では、料理作りや工作などを子供たちと一緒にを行います。  
まず、年度初めにリーダーで何を作りたいか、集まって話し合います。例年、料理のプログラムに人気が集まるため、今年はすべて料理にしてみようということで、料理作りがメインで行われました。うどん、クレープ、肉まん、恵方巻など、様々な料理に挑戦しました。当日までには、2週間前にミーティングを、1週間前に試作を行っています。ミーティングで手順や材料等綿密な話し合いが行われ初めて試作をします。試作では材料や調味料の微調整を行いつつ、当日の活動をイメージし、同時に話し合いもしました。しゃちほこは隠れてつまみ食いするのが得意になりましたよ！



当日は子供たちと工夫しながら料理を作っていきます。この活動で何よりやりがいを感じる時です。子供の包丁さばき、料理の知識、家での料理の様子などなど、感じさせられることや驚き、発見で溢れた時間を子供たちが提供してくれるのです。この瞬間ほど楽しいものはありません。

来年度は料理だけでなく、工作も取り入れていきます。何を作るかはお楽しみ！

来年度も、リーダー全員でサンデースクールを盛り上げていきますので、今後ともよろしくお祈りします。

岩手大学2年 篠原千絵子（しゃちほこリーダー）



こちらは肉まんづくりの際の試作の様子。子どもたちは、どんなレシピなら作りやすいだろう?どんな具なら喜ぶかな?いろいろ試してみます。



10月サンデースクールのチラシの一部。もちろん、このチラシもリーダーが書いています！



当日は、子どもたちのよき指導者として、リーダーたちが大活躍！



みなさん、こんにちは！盛岡YMCA大学生リーダーのダイラーです！今回はサンデースクールの魅力を紹介したいと思います！

第一に、サンデースクールでは、普段作る機会がない料理や工作をすることができます。例えば、パンや肉まん、恵方巻き作りがあります。ちょっと危険な包丁の使い方、火の扱い方、一人ではちょっと大変な生地をこねる作業もリーダー達が優しく丁寧に教えてくれます！

二つ目にサンデースクールの楽しいところは、たくさんの友達と一緒に調理したり、工作したりすることができることです！どんなに大変な作業でも、みんなと一緒に協力しながらやれば、不思議と楽しくなってきます！そして出来た料理もみんなで食べると、もっともとおいしくなります！準備から片付けまで自分の力でやると達成感も一塩です！

最後に、リーダーたちはみんなが来てくれるのを待っています！みんなでサンデースクールをエンジョイしましょう！

岩手県立大学1年 松平大知（ダイラーリーダー）



こんにちは！リーダーのきゅうりです！

私はパン作りと恵方巻作りのサンデーに参加しました。私自身、子どもたちと接して楽しいだけじゃだめなんだと感じることが出来ました。子どもたちが多く、リーダーの数が少なかった恵方巻作りでは、火や包丁を使うので子どもたちから目が離せなく、どうしたら効率よく作業ができるのか葛藤していました。しかし家でお母さんのお手伝いしている子は、率先して「たまご切るよ!」と言ってくれたり、小学生は幼稚園の子について、手伝ったりする姿を見て、とても感動しました。ずっと子どもたちについているのではなく、子どもたち同士で教えあったり、一つの料理を完成したときの喜びを共感する姿を見ることが出来ました。サンデーになかなか参加できないのですが、行ったときに名前を呼んでくれたり、みんなで同じものを一から作り、完成をみんなで喜ぶことが出来たサンデーの活動でした。

盛岡大学1年 鈴木礼奈（きゅうりリーダー）



## 2月アドベンチャー「田沢湖雪まつりツアー」

こんにちは！盛岡大学3年の東海林俊一です。リーダー名はますおです！今回の2月アドベンチャーでは、秋田の田沢湖スキー場での雪まつりに行ってきました。個人的にも今までに行ったことがなく3年間とても楽しみにしていたアドベンチャーでした。今回のアドベンチャーに参加してくれた子どもたちのほとんどは、キャンプや日帰りスキーに来てくれた子どもたちがほとんどでした。そういうこともあり、「また〇〇くんと一緒にグループだ!」「〇〇くん!」など名前を呼んで遊んでいる姿など今までのつながりがみることができました！そういう意味で暖かい雰囲気アドベンチャーをやっていくことができました。

残念なことに天候に恵まれず、スキーレッスンや雪まつりなど思うようにスムーズに進めることができませんでした。しかし、それでも子どもたちの笑顔が絶えることはなく、とても楽しいものをみんなでつくることができたと思えました

今回のアドベンチャーで、私は、改めて思うことがありました。それ

は、「何をやるかではなく、誰とやるかが大切」ということでした。どんな状況でも、うまく事はこぼなくても、一緒にいる人たち次第で、つらくもなるし、楽しくもなるというのを改めて実感しました。今回のアドベンチャーがああメンバーでできたことを本当にうれしく思いました。また、今回のアドベンチャーを通してできた、つながりなどを大切に、また次のアドベンチャーができたらいなと思います。ぜひ、3月の日帰りスキーやスプリングキャンプなどもぜひ参加してください！よろしくお祈りします！

盛岡大学3年 東海林俊一（ますおリーダー）



大きなウサギの雪像といっしょ



もちろんスキーもがんばりました！



# ☆宮古市高校生人間関係トレーニング☆

盛岡YMCAのリーダー4名が、宮古市の高校生を対象とした人間関係トレーニングに挑戦！ トレーニングを受けた高校生にはもちろんのこと、ファシリテーターとして活動したリーダー達にとっても大きな学びとなりました。盛岡YMCAのインターン生としても活躍する「あさりリーダー」こと安久津理沙さんから、当日のレポートが届いています。また、同じくファシリテーターとして活躍した3名からもコメントが届いています。

今回、盛岡YMCAのリーダー4名で、「高校生人間関係トレーニング」に挑戦しました。人間関係トレーニングには様々な方法がありますが、今回私たちは、アイスブレイクや話すことを中心に、高校生同士がより深く関われるようなプログラムを行いました。その中で一番大事にする所は「振り返り」です。振り返りに時間をかけることで、自分自身の気持ちの変化や新たな自分の一面に気づく機会となります。この気づきが、今の自分に刺激を与えるものであり、新たな自分へ変化するきっかけになればいい…このような共通意識を持って臨みました。実行するにあたり、私たちの役割は高校生同士の架け橋になったり、話しやすい環境を作ったりするファシリテーターです。勿論全員初めての経験でした！私たち盛岡YMCAのリーダーは、年に2回盛岡YMCAスタッフの皆さんより、リーダートレーニングを受けています。リーダートレーニングを通して、自分自身について振り返ったり、他のリーダーと自分の違いに直面したりなど、様々な気づきから学び、自身の成長の糧としています。実際に、自分たちが行う側になると、準備の段階から沢山頭を使い、想像以上に大変なことを身を以て経験しました。ファシリテーターって何！？から始まり、高校生の現状把握、私たちから伝えたいことは何か、それに適した内容って？…そして、自分たちで実際にやりながらファシリテーターについて学んだこともありました。

真面目な雰囲気だと思われながらも、その中で楽しむことも忘れないのが盛岡YMCA！！間違えてもへっちゃらだ！「てへっ☆」シールを生み出し、高校生に配ろうと考えちゃいました！自分たちの「てへっ☆」顔をシールにしたところ、高校生には大好評でしたよ！

これまで、私たちリーダーはスタッフから様々なリーダートレーニングを受講してきました。今回は、トレーニングを計画し、ファシリテーターという立場で、宮古の高校生と1日を通して関わって来ました。リトレの中で、自分の考えを言葉にして伝えることや相手の気持ちに気付こうとすることに真剣に向き合う高校生の姿から、私たち自身学ぶことがたくさんありました。

自分と相手と向き合うということは、心の深いところに触れ、時にはつらく苦い気持ちになることもあるのだと改めて感じました。また、そのような気持ちになったとしても、自分を知り相手と関係を築いていくことは、とても価値のあることであるということを再確認しました。

3月5日に、2回目のリーダートレーニングを行うため、宮古に行く予定です。私たちにとっても、そして、参加してくれる高校生にとっても、貴重な機会になるよう、しっかりと準備をして臨みたいと思います。

盛岡大学4年 小野寺百恵（つぶ貝リーダー）



## トレーニングを受けた、宮古商業高校JRC・JAC同好会の高校生と、同好会の顧問の先生より、コメントを頂きました。

私は、YMCAの活動に参加してみたい皆さんのことを学びました。まず、何かをした結果が大事なのではなく、その過程が大事なのだということを知りました。私はいつも結果だけを気にしていました。そのため、いつも「失敗してしまった」ということだけしか残りませんでした。今回の経験から、振り返りをする大切さを学びました。これからは失敗したらなぜ失敗したのかを考えることを大切にしようと思います。そうすることにより成功につながると思うからです。

二つ目に学んだことは、人に何かものを伝えるときに、伝える手段（口、目、字など）が一つでもなくなると伝えることはとても難しくなるのだなということを知りました。それをとても感じたのはKJ法を用いたグループワークの時でした。自分にしかわからない情報をどう相手に伝えるかが簡単そうに見えて実はとても難しかったです。

このような経験を私たちJRC・JAC同好会がしたことにより、人間力を大きくできた気がします。そして、社会に出たときに役立つ人間になれるようにこのような経験をこれからも積んでいきたいです。

宮古商業高校 JRC・JAC同好会 2年 小堀内志



当日に向け話し合いを行うリーダー達



こちらが当日の様子

「なんだか分からないけどやってみたくて」「人の役に立ってみたい」「自分を高めたい」そんな志を胸に秘めて集まっている宮古商業高校JRC・JAC同好会ですが、それをどういう形で実現すればいいのか、日頃ボランティア活動に勤しみながらも、暗中模索の現状をなんとなく濱塚総事に「つぶやいた」ことが今回のワークショップ開催のきっかけとなりました。

「コミュニケーションの在り方について学ぶ」ことが今回のテーマでしたが、「人に伝える」「人の話を聞き取る」以前に、そもそも「自分は何を考えているか」「自分自身に問いつける経験がまだまだ不足している高校生たちです。ですから、今回大学生リーダーの力を借りて深く深く自分の気持ちを追求して、そこに一番苦勞をしているのが見ていて分かりました。でもそのへトへトに疲れている彼らの顔が、実は今まで見たこともないくらいキラキラしていて、生徒たちが日頃出し切れていない気持ちや力の存在を感じました。

そんな機会を与えてくれた4名の大学生リーダーのみなさん。元気と、気配りができて、そして芯がしっかりあって、皆さんのような方々と今回うちの生徒が出会うことができ、身近な憧れとして後を追いかけていくうちに、いつかは「私たちはこれだ！」と自信を持って活動できる同好会になっていくことが、顧問として今一番の夢です（他力本願！？）。これからも末永くどうぞよろしくお願ひいたします。

宮古商業高校 JRC・JAC同好会 顧問 中野静香



当日は、2人で1つのグループを持ち、丸一日のプログラムを行いました。高校生を見ていて、他者に少しずつ心を開く様子、「自分」を出せる瞬間、相手のことを知る楽しさなどがあったのではないかと思います。一方で、自分の弱さを知られる恥ずかしさや戸惑いなども感じてもらえたのではないのでしょうか。私は、高校生のちょっとした仕草やつぶやきを大事にし、少しも見逃さないように拾って意見につなげることが難しかったです。参加していた高校生から、「普段の学校生活では経験できない貴重な時間だった」などの感想があり、中には、友達の意見で、新たな自分に気付かされた子もいたようです。高校生も私たちも、共に学び、気づき、何かを得る、貴重な時間を過ごすことができました。

私自身、自分の課題点もありますが、この人間関係トレーニングを通して、話すことの楽しさを知りました。一人の考えに、他者から意見がある、それに対してまた意見がある、どんどん深まる…。相手の意見から学ぶこともありました。

3月にも、同じメンバーで高校生人間関係トレーニングPART2を行います。参加者は、高校生に加え、関東の学生YMCAなど、対象者の幅を広げての挑戦！前回の反省を生かしつつ、自分たちの挑戦を怠らないこと、そして楽しむことを忘れずに！！私たちも参加者も充実した時間を過ごせるように頑張りたいと思います！！まだまだ未熟な私たちなりに、とことん最後までやりきるぞ！

盛岡大学3年 安久津理沙（あさりリーダー）



今回のリーダートレーニングは、自分自身、準備の段階でたくさんの気づきがありました。そして高校生と活動してみても言葉の大切さそして言葉の使い方など、伝える側と受け手の違いに気づき、また再認識出来ました。今回の活動を次に活かすため、自分自身日々の生活で意識していきたいです。

社会人 澤野俊理（メニコンリーダー）



普段あまり高校生と関わることのない中で、高校生と人間関係トレーニングをすることにとっても緊張しました。事前準備の段階で自分自身が頭を使うこと、言葉にして自分が思っていることを伝えるということに対する苦手意識を持っているんだと気づき、人間関係トレーニングをすることで高校生と共に課題点に取り組むことができたと思います。今回の経験で変化できたこと、新たに気付けたことを今後活かしていきたいです。

盛岡大学4年 向平悟（Gパンリーダー）



# 3月の予定

- ★3月5日(土)  
宮古高校生ワークショップ  
「グループワーク」  
(於：宮古市総合体育館 会議室)
- ★3月6日(日)  
宮古アドベンチャー  
「凧揚げ」  
(於：閉伊川河川敷)
- ★3月7日(月)  
職員礼拝
- ★3月10日(木)  
宮古高校生ワークショップ  
「ドリームマップ」  
(於：宮古市総合体育館 会議室)
- ★3月13日(日)  
フットサル大会
- ★3月15日(火)  
火曜水泳Ⅲ期終了
- ★3月16日(水)  
盛南スクールⅢ期終了  
水曜水泳Ⅲ期終了
- ★3月17日(木)  
高校スクールⅢ期終了  
向中野スクールⅢ期終了
- ★3月18日(金)  
盛北スクールⅢ期終了  
金曜水泳Ⅲ期終了
- ★3月19日(土)  
森のようちえん  
「そりであそぼう♪ばわふるキッズ☆」  
(於：小鹿公園)
- ★3月19日(土)  
本町スクールⅢ期終了
- ★3月21日(月)  
土淵スクールⅢ期終了  
月曜水泳Ⅲ期終了
- ★3月27日(日)  
アドベンチャークラブ  
「日帰りスキー教室」  
(於：八幡平リゾートスキー場)
- ★3月29日(火)～31日(木)  
スプリングスキーキャンプ  
(於：安比高原スキー場)

## 君でいいんだよ ～JUST THE WAY “YOU” ARE ㊶～



### 「解き放て 生命 (いのち) で笑え」



風が吹く 港の方から  
焼け跡をつつむように  
悲しくて 全てを笑う  
かわく 冬の夕べ

おどす風

**夕暮れが 悲しみの街をつつむ  
見渡す眺めに 言葉もなく  
行くあてのない 怒りだけが  
胸を熱くする**

**声のない叫びは 煙となり  
風に吹かれ空へと 舞い上がる  
言葉にいったい何の意味がある  
かわく 冬の夕べ**

**ヤサホーヤ  
唄が聞える 眠らずに朝まで踊る  
ヤサホーヤ  
唄が聞える はく息の白さが踊る**

**解き放て 生命 (いのち) で笑え  
満月の夕 (ゆうべ)**

「満月の夕」という曲の歌詞だ。ソウル・フラワー・ユニオン、ヒートウェイブといったバンドが阪神・淡路大震災をきっかけに共作した。以来、現在に至るまで様々な人によって歌い継がれている。

NHKの「The Covers」という番組で女優の大竹しのぶさんが歌っていたのをみて初めてこの曲の存在を知った。「本当につらい時、かなしい時、人は笑うしかないんですよ」番組の中で大竹さんは、映画監督の新藤兼人氏が100歳の時の言葉に大きな影響を受けたと話していた。

ところで、オーストラリアの精神科医、フランクは、自身のアウシュビッツ強制収容所での体験を「夜と霧」という著書で紹介し、「冗談など考えつくこともできないと思える悲惨な恐怖の中で魂を絞り出すように滑稽な話を考え、愉快なジョークを披露しあっていた。」と語っている。

笑いには、嘲笑、失笑など「人を刺す笑い」もあるが、一方でこうした「人を救う笑い」、「解放としての笑い」という類型もあるのだと思う。悲しみと笑いとの間には、人間の深いところで何か相通じるものがあるのだろうか？

**「泣くに時があり、笑うに時があり、悲しむに時があり、踊るに時があり…」  
(口語訳聖書：旧約聖書 伝道の書3章4節)**

盛岡YMCA総主事 濱塚有史



表紙の写真から

毎週火曜日に宮古小学校で行っているサッカー教室に通う子どもたちです。その視線の先には、大好きなリーダー達が…。

## リーダー紹介コーナー！

こんにちは！エルボーです！本名は山田夏美といます。岩手県立大学総合政策学部の一年生です。よろしくお願ひします！今回は、私がリーダー紹介をしたいと思ひます。

今回紹介するのは、ビー玉です！ビー玉は、本名は工藤奈緒とひいて、岩手県立大学の社会福祉学部の1年生です！盛北サッカースクールと本町サッカースクール、2つのサッカースクールに参加してひます。主にサッカーの活動に参加してひるので、サッカースクールに参加してひる子どもたちは、ビー玉を見かけたらたくさん声をかけて、仲良くなろう！ビー玉は高校時代に部活でサッカーをやっていたので、サッカーがとても上手です。だから、みんながビー玉と一緒にサッカーをやるのはとてもいいことだと私は思ひます。ビー玉からひいてひいた技を吸収して、サッカースクールの子どもたちは、もっともっとサッカーが上手くなるように頑張ろう！他にも、ビー玉は、ソフトボールやフットサルなど、いろいろなスポーツをやっていたので、運動神経がとてもいいです。サッカーだけでなく、鬼ごっこなど、いろいろな遊びで一緒に遊ぶのも、きっと楽しいと思ひますよ！

さて、そんな運動神経が良くして活発なビー玉ですが、絵が上手いという一面も持っています。本を読んだり、ゲームをしたりすることも好きですよ。最近は、たくさん子どもたちとお話をしたいので、妖怪ウォッチのゲームもやってひます。コツコツレベルも上げてひるそうなので、みんなビー玉とたくさんお話をしようね！

また、ビー玉はとてもしっかりしてひいて、さらに優しいです。落ち込んだ時は励まして元気づけてくれるし、参考になるアドバイスもくれます。とても心強いんですよ。サッカースクールの時もそうですが、ビー玉が傍にいてくれると、とても安心します。ビー玉は物知りでもあるので、子どもたちみんな、たくさんビー玉とお話したり遊んだりしようね！

最後に！ビー玉は身長が高いです。身長が高くなりたひ子どもたちは、どうやったら身長が伸びるのか聞いてみるのもよいかもひませんか！

以上で、今回のリーダー紹介を終わります。ありがとうございます！



(右・ビー玉リーダー  
左・エルボーリーダー)



- **国際協力募金**

秋永光里、浅沼慈、浅沼美希、浅沼久志、浅沼友慈、家村知佳、伊藤克見、石崎真珠、伊藤真一郎、伊藤真太郎、伊藤愛美、岩城恵、魚住英昭、鶴丹谷三子代、遠藤昌樹、遠藤立規、大崎若木、大開晴二、小笠原真紀子、尾形裕一郎、小川嘉文、小野寺大介、小畑孝子、重石桂司、川守田浩

● **岩附金**

飯島隆輔、池田二郎、石渡隆司、伊藤克見、伊藤真一郎、今松桂子、鶴丹谷三子代、遠藤昌樹、角谷晋次、神田橋慈一、熊谷圭祐、小山憲彦、佐藤翔、水弘一、杉田弘美、高瀬裕彦、中原真澄、花田暁、早坂春希、原寛、人見晃弘、増田隆、山崎詩織、友愛幼稚園

● **東日本大震災被災地支援募金・献品**

● **ユニチャリティ・コンサート実行委員会**、青木寛、青木恭子、飯島隆輔、岩岡みなみ、ワイルズメンズクラブ、宇都宮ワイルズメンズクラブ、宇都宮東ワイルズメンズクラブ、大阪MCAインテリナショナルスクール、ラフ、ジョン・マフィー、沖繩那覇ワイルズメンズクラブ、鹿児島YMCA、鹿児島ワイルズメンズクラブ、鎌倉ワイルズメンズクラブ、京都ワイルズメンズクラブ、京都エイズメンズクラブ、京都キヤベタルクラブ、京都東横ワイルズメンズクラブ、京都ピタクルクラブ、京都市東区ワイルズメンズクラブ、清水弘一、頌茶短期大学、東海クラブ、東海ワイルズメンズクラブ、名古屋アラサクラブ、名古屋ワイルズメンズクラブ、日本基督教団内丸教会、広島ワイルズメンズクラブ、廣瀬一雄、フジクリー、岩手株式会社、南山ワイルズメンズクラブ、山本常雄、横浜ワイルズメンズクラブ、四日市ワイルズメンズクラブ、ワイルズメンズクラブ、国際協会東日本区、ワイルズメンズクラブ、西日本区、ワイルズメンズクラブ、東日本区、和歌山紀の川クラブ

● **維持会費**

阿部靖、有我啓作、飯島隆輔、家村知佳、池田二郎、石渡隆司、戸貞文、伊藤克見、伊藤真一郎、伊藤真太郎、伊藤愛美、伊藤みどり、井上浩太郎、井上修三、井上優子、今松桂子、鶴丹谷三子代、魚住英昭、越前谷祥子、遠藤昌樹、大開晴二、岡田虎治、押切祥、小畑孝子、重石桂司、川谷晋次(株)

興和電設、川守田浩、神田橋慈一、川坂俊孝、菊田弘生、北田アユ子、木田泰之、君塚彩、熊谷圭祐、熊谷太、桑原良幸、高影希、小林茂元、小山憲彦、今野聖子、今野健男、斉藤恒夫、佐藤翔、清水弘一、杉田弘美、高瀬裕彦、滝川佐太郎、武内祐輔、田村治之、千葉晋澄、中原真澄、長岡和義、長岡正彦、中村圭一、名古屋恒彦、朴正浩、花田暁、濱塚有史、濱塚直樹、濱塚真美、濱塚有史、早坂春希、林辰也、原寛、人見晃弘、廣川厚子、廣川健太郎、廣川はるな、深澤秀男、深澤多紀子、藤野陽平、古澤伸、増田隆、松尾聡子、松本和也、水谷史門、光永尚生、水野鶴夫、宮崎幸雄、村上健太郎、村上才子、森山菜乃、森山幹大、盛岡チャペル、山口貴伸、山崎詩織、吉井啓亮、林間つきみ野教会